



# ハテマロ会のネパール大震災支援活動

「ネパールに夢と希望を」

—第1回被災地現地報告会兼チャリティ上映会—

## 報告書

ハテマロ会

हातेमालो समाज



HATEMALO SOCIETY

設立：2006年

日時：2015年5月23日（土）12：30～16：30

会場：葛飾公民館（西船橋）

主催：ハテマロ会

共催：特定非営利活動法人 市川ユネスコ協会

後援：在日ネパール大使館、JICA 東京、公益財団法人千葉市国際交流協会、ネパール教育整備促進協会、ネパール緑と教育と技術基金、

協力：東京情報大学伊藤研究室、千葉県立依知川工業高等学校建築科、千葉県八千代高等学校

指導助言：伊藤敏朗氏（東京情報大学教授）

# ハテマロ会理事会

会長 : Dr. Suraj Pradhan

副会長 : Mr. Rajeeb Shrestha

事務局長 : Mr. Bharat Maharjan

会計 : Mr. Deep Ratna Shakya

理事 : Mr. 高柳治信

理事 : Ms. 櫻井美佳

理事 : Mr. Rabin Shakya

理事 : Dr. Sawan Joshi

理事 : Dr. Kabir Shakya

監事 : Mr. Gautam Maharjan

監事 : Mr. Prachanda Mani Bajracharya

顧問 : 北角虎男先生

顧問 : 菊池貞介先生

顧問 : Mr. Sukuman Thing Tamang

## チャリティ上映会兼緊急地震報告会委員会

委員長 : Dr. Suraj Pradhan

委員 : ①Mr. 高柳治信、②Mr. Gautam Maharjan、③Mr. Rajeeb Shrestha

アドバイザー : 菊池貞介先生

指導助言 : 伊藤敏明先生

●問合せ先 : 〒273-0022 東京都江東区南砂 2-3-7-720

TEL: 050-5899-8245(ハル) URL: <http://www.hatemalo.org/> Email: [haru206@nifty.com](mailto:haru206@nifty.com)

## スポンサー紹介



●ドリンク協賛 公益財団法人本庄国際奨学財団

## 上映作品

『カタプタリ～風の村の伝説～』伊藤敏明氏作品

ネパール政府国家映画賞、第1回ネパール短編映画祭批評家賞受賞、映文連アワード2009奨励賞受賞、2009日本賞クロスメディア・フォーラム上映 他 (東京情報大学教授)

## 現地報告

●岡本マルラ有子氏

ネパール舞踊家、「天空の舞い」ネパール民族伝統舞踊学校主宰、和光大学 / 東京情報大学非常勤講師

被災したカトマンズ盆地他で支援活動を展開、厳しい状況にある女性と子どもの視点から支援と復興を考える

# ハテマロ会の紹介

ハテマロ会は 2006 年 4 月 14 日に設立された民間団体である。本会の名称そのものはネパール語源の言葉であり、「ハート」は手のことで、「マラ」は輪を指し、したがって和訳すると“手をつないだ輪”という意味になる。ネパールは多民族国家でヒンドゥー教に基づくカースト制度が根強く、貧富の差が激しい国である。それは上下関係を構成する主要要素となり、自由に手をつなぐことはむしろ不可能とする構造が作られてきている。それを正して民族・カースト・地域を越えて横断的なヨコ社会の可能性を探るべく名称からこだわったのである。

千葉県を中心にネパール関連の国際交流活動を展開し、日本、ネパール、そして海外の人たちも含め、より多くの方々のご理解とご協力を得て、“ハテマロ”を広げて歩むことを目標としている。

## ●ハテマロ会の目的：

① 在日ネパール人及び日本人を含む海外の方々の中に文化交流を通じて異文化理解を深める。② 安定的に日本の社会に共生できる環境を構築し、多民族・多文化共生社会の実現のために努力する。③ 在日ネパール人の豊かな社会基盤及び日本においてネパール人および日本人とのネットワークを構築する。④ ネパール・日本間草の根レベルの市民の交流・協力関係を推進する事業を行う。⑤ 個人的な経験や技能や研究を発揮する場を提供し、それを利用してネパールの社会経済的な発展に寄与する。

上記の目標を実現するために定期的に各種のイベントを企画・開催し、異文化交流を実施している。

## ●ハテマロ会の存在意義：

今日、日本においてネパール人の団体が 200 を越えると言われる。その多くは諸民族集団や出身地共有集団であり、他は学生の団体や政治団体やビジネス関係の団体など主に特定の分野に特化している。これらの団体にはそれぞれの資格が有とし、また、団体によっては会費や活動参加費が高く、活動自体がネパール人に向いていないのでネパール人が参加できない状況である。ハテマロ会ができた頃はネパール関連の団体は少なかったが、上記の問題意識は皆が持っており、国籍や民族やカーストを問わず、究極安い会費や活動参加費で、ネパールの社会文化を日本で再現し、家庭的な環境で誰しものが簡単に参画できる団体が必要とされていた。そういう問題意識の下でできたハテマロ会だったので、多くの方々の賛同が得られて 9 年間も地道に活動を継続してきて現在に至っている。

## ●ハテマロ会の主な活動：

ハテマロ会の組織運営そのものは日本人を含めて 120 人の会員に支えられており、活動に協力してくれる方々は 200 人に上る。ハテマロ会は毎月文化交流を目的で大小の活動を実施してきており、その中でも主に力を入れているのは以下の活動である。



ハテマロデー (4月)



サメバジパーティ (9月)



フェスティバル (2月)

# イベント概要



本年、4月25日（土）に発生したネパールの中部ゴルカ郡を震源とする大地震、そして5月12日（火）を代表とする相次ぐ大余震によって多くの人々が家屋を失われた。犠牲者は、8,700人を超えている現状にあり、今日までもカトマンズ盆地を始め全国が恐怖と不安に怯えている。世界文化遺産が集積するカトマンズ盆地には、独特の生活文化や風習が色濃く残り、人類学、民俗学の研究対象としても魅力ある地域であったが、今回の大地震によって古い街並みが破壊され、90%以上の文化遺産が被害を受けました。ハテマロ会一同も非常に心を痛めており、遠くに離れて活動を行っている我々は被災者のみなさんのためにできることから実行していこうと立ち上がった次第である。これまで、日本の様々な地域との交流を重ねてきた「ハテマロ会」は、もう一つ新たな活動「被災地の復興のために支援」に重点を置き、募金活動を開始している。

その一環として第1回目の活動として上映会兼緊急報告会を実施する運びとなりました。

## ●現地の対象地域：

今回の地震でネパール全国が被害を受けておりますが、第一歩として、カトマンズ、パタン、バクタプル、バネパ周辺の被害が多い地域を絞り支援を行い、徐々に対象地域を広げていく。

## ●支援方策：

復興において、緊急支援（テント、トタン板、医薬品、照明）に合わせて以下の中・長期的な支援方策を行っていく。

- 浄水による飲料水の確保
- 絵本翻訳で子供たちに笑顔を届ける
- 文化的遺産の再建、現地自民による街並みの保護・再建

## ●プログラム

- ・ 開会
- ・ ハテマロ会長挨拶
- ・ 黙祷
- ・ 「カタプタリ～風の村の伝説～」のチャリティ上映
- ・ 監督伊藤敏朗氏による解説
- ・ 岡本マルラ有子氏による被災地緊急報告会
- ・ 意見交換：
  - 菊池貞介「現地やメディアからの被災情報」
  - スラズ・プロダン「ハテマロ会の方針と支援方策」
  - 高柳治信「ハテマロ会現在の進行活動について」
- ・ 閉会

# プログラム詳細

2015年5月23日（土）に千葉県船橋市（西船橋）所在の葛飾公民館にて第1回被災地現地報告会兼チャリティ上映会が開催されました。大勢のボランティアのご協力をもって定時の12時半までにすべての準備が完了しました。12:30にプログラムが開会され、スムーズにプログラムが進行されていきました。

プログラム様子は写真で表現します。



開会

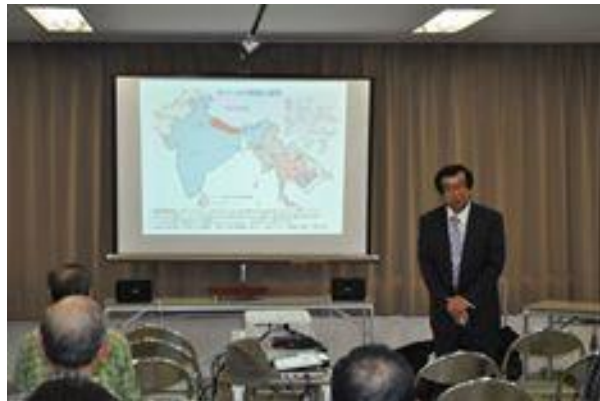
- ハテマロ会長挨拶

会場の皆様に感謝の言葉と送り、本イベントの意義について述べられました。

- 黙祷

ネパール大震災で亡くなられた方々に1分間の黙祷がささげられました。

- 監督伊藤敏朗氏によるネパール概要と映画の解説



- 「カタプタリ～風の村の伝説～」のチャリティ上映



●伊藤監督より映画の解説



●岡本マurlラ有子氏による被災地緊急報告会



●意見交換：

- 菊池貞介「現地やメディアからの被災情報」



- スラズ・プロダン「ハテマロ会の方針と支援方策」



●北角顧問より挨拶

- 高柳治信「ハテマロ会現在の進行活動について」



●閉会



今回の募金総額：

1. 船橋市国際交流協会	: 30,000円	
2. ネパール教育整備促進協会	: 20,000円	
3. 池上様 (早稲田大学)	: 10,000円	(小島佳子氏持参)
4. 桜井様	: 10,000円	
5. 臼倉様 (市川ユネスコ協会)	: 1,000円	
6. 本間様 (市川ユネスコ協会)	: 1,000円	
7. 松井様	: 1,000円	
8. 佐野様	: 1,000円	
9. 伊藤様	: 1,000円	
10. 河原様	: 1,000円	
11. 石井様	: 1,000円	
12. 募金箱 (不特定)	: 65,462円	
合計	: 143,462円	

## 謝辞

第1回被災地現地報告会兼チャリティ上映会を開催するにあたって、共催をいただきました特定非営利活動法人市川ユネスコ協会、特定非営利活動法人日本ネパール友好協会；後援をいただきました在日ネパール大使館、独立行政法人 国際協力機構、公益財団法人千葉県国際交流協会、ネパール教育整備促進協会、ネパール緑と教育と技術基金；ご協力いただきました東京情報大学伊藤研究室、千葉県立依知川工業高等学校建築科、千葉県八千代高等学校、指導助言をいただきました伊藤先生、ボランティアおよび参加者のために飲料品をご提供いただき公益財団法人本庄国際奨学財団、そして場所を提供いただきました船橋市葛飾公民館に改めて心より感謝しております。ついでに、この場を借りてハテマロ会をいつも応援していただいご参加の皆様を重ねがさね感謝の意を表したいです。そしてボランティアの皆様、その心に敬意を表します。ネパール大震災支援活動は長期的な計画でありますので今回同等以上のご協力、ご指導賜りますようお願いいたします。

### ●今後予定している被災地の復興のための支援活動：

- 映画のチャリティ上映会
- 被災地報告会
- チャリティ音楽コンサート
- 街頭募金活動「日本をきれいに」

### ●直近の活動予定

#### 1. 街頭募金活(日本をきれいに！ in 上野)

日時:5月30日(土) 10:00~16:00まで

会場:上野恩賜公園(うへの動物園のある場所)

#### 2. 第2回被災地報告会併せてチャリティ上映会

日時:6月14日(日)

11:00 開会

11:10~12:15 「カタプタリ〜風の村の伝説〜」チャリティ上映会 伊藤敏朗氏作品

12:30~13:30 スクマン・ティン・タマン氏(ハテマロ会会員)による被災地緊急報告会

13:30~14:50 ネパール料理食事会

14:50~15:00 閉会

会場:社会福祉法人うぐいす会 稲毛グループホーム 千葉市稲毛区園生町153-1

JR 総武線稲毛駅下車、京成バス-京成団地行-園生小入口バス停下車徒歩1分

先着120名

入場料:500円(食事代として)奨学生以下無料

報告者:ラジブ・シュレスタ

作成日:2015年5月26日(火)